

令和1年度の教育活動等における学校評価書

令和2年 3月 30日

学校法人 麻機幼稚園 園長山本富裕

学校法人 麻機幼稚園学校関係者評価委員会

1. 教育目標 「健康で明るく元気な子」
2. 教育方針 自然に恵まれ、うるおいとゆとりのある環境の中で、さまざまな物や事柄に興味・関心を持ち、大勢の人とかかわり合いながら、身体を一杯動かしたり、遊びを工夫したりして、自分の考えを持ち、自分で行動できる子を育てる。このような資質を持った次代を担う人づくりを目指す。

3. 自己評価結果とそれに対する学校関係者評価結果 A:よくできている B:概ねできている C:余りできていない D:できていない

評価項目	評価	自己評価の視点、理由、改善点など	評価	学校関係者評価委員会意見
I 保育の計画性	A	<ul style="list-style-type: none"> ・計画性は、昨年よりはできていたのではないかと思う。 ・園の教育理念や教育要領などは話したり聞いたりする機会があるため、ある程度は理解できている。 ・子どもの成長を把握しながら、月案をたてたり日々の保育を計画したり、その時期や季節に合わせた保育を行うよう心掛けている。 ・より繊細な保育計画を作成できるよう、幼稚園教育要領の理解を深めることが必要だと思う。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度の成果と課題を明らかにして改善している様子がうかがわれました。 ・年間を通して、多くの行事や、園外保育などの活動を積極的に行うことで、学年毎の成長のスピードに合った教育課程が作られていると感じられ、「健康で明るく元気な子」という教育目標が自然と身についていると思いました。 ・麻機幼稚園の目指す方向性を園長先生、担任、理事者が共有し、理解し、クラス目標を常に意識されて取り組んでいただければと思います。 ・集団としての成長や表れが、経験を積むことによって変化していく点も重要だと思いました。

<p>Ⅱ 保育の在り方 幼児への対応</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたち1人ひとりとの関わりや気持ちによりそう保育を大切にしている。 ・子ども一人ひとりが、自分の言葉で自分の気持ちを言えるよう声掛けをしてきた。 ・一人ひとりを大切に見守り支援していけるような保育を心掛けている。 ・子ども同士のけんかの仲裁に入る際も、両方の意見をしっかり聞き、お互いの思いをきちんと代弁してあげたいと思う。 	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先生方が一人ひとりの園児に寄り添い、大切に育てている様子が見られました。 ・子どもたち一人ひとりの目線に合わせ、常に安全面への配慮も怠らない姿に感謝しかありません。 ・何かあった時の、先生方同士の声かけ、情報共有、対応の速さは、素晴らしいと思います。 ・年中さんが体育館で麻機ならではのちびっこ体操をされていた。差別化されていく幼稚園経営の中で、特色ある麻機幼稚園ならではの授業に今後もチャレンジしていただきたいと思います。 ・子ども達が、先生方との安心・信頼できる関係性の中でのびのびと自己表現している様子が伝わってきました。事故や災害など緊急対応への準備も大切だと思いました。
<p>Ⅲ 保育者としての 資質や能力 ・良識・適正</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教諭どうしの情報共有を心掛けてきた。また、子ども一人一人に対し関わり方を替えて、個が伸びるように保育を行うことができた。 ・子どもたちとの関わりや成長の喜びが日々の保育の大変さをはるかに上回り"やりがい"を感じている。 ・周りの関わりがあるすべての人たちとの密なやりとりや話し合い等をしていくことも自分の保育の知識を増やすためにも大切だと思った。 ・この仕事をしていて1番感じることは、本当に楽しいということ。自分自身が楽しむことで、子どもたちの楽しいという気持ちにつながるため、常に楽しみながら過ごしていきたい。 	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもへの接し方、年齢に合わせた指導の仕方は親として、とても参考になることばかりで知識の豊富さが伺えます。 ・合言葉の「元気いっぱい」「笑顔いっぱい」「やる気いっぱい」が、どのクラスからも感じられました。 ・子どもからのあいさつが、とてもしっかりして、子どもたちの先生の話聞く姿勢がすばしかったのは、教育の仕方だと思いました。 ・体操の先生が教えてくださるちびっこ体操がとてもありがたいです。 ・先生方が楽しく保育されていることが子ども達にも伝わっていて、良好なコミュニケーションがとれていることがわかります。担任以外の視点から意見交換することも、プラスに働いていると思いました。

<p>IV 保護者への対応</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 個々の成長などは連絡ノートを通じて保護者に伝えるようにした。保護者からの相談はすぐ答えるようにし、園に関わることなどは、園長先生や副園長に相談してから返答するようにした。 • SNSが普及する中、保護者対応の難しさを痛感する。できるかぎり、やれることはやろうと思うがどこまで会話をするのか、という難しさを感じる • 保護者と常にこまめに連絡を取り合い子どもたちのこと幼稚園の事を共通理解し、共に分かりあいながら、過ごしていくことが大切だと感じた。また、園長先生や、上の先生と話し合いを持つことも必要と感じた。 	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> • どの先生も、話しやすく、子どもの小さな成長や変化も気にかけて教えてくださったり、お忙しい中でも、一人一人の保護者の相談、意見に対応してくださったりしていただいて、とてもありがたいことだと思います。 • 新聞報道の中で、地域の農家とコラボしてさつまいも収穫で園児が喜んでいる姿を知った。今後も引き続き、幼稚園の取り組み等の情報を自治会の回覧でさらに理解を深めたいと思います。 • 対面して話をしたり、直接見聞きたりすることは、客観的な状況評価と対応策を練るうえで不可欠かと思っています。様々な個人情報の扱い方も難しくなっていると思います。 • 情報の発信に関しても何の不便を感じることはありません。しかし、保護者側の SNS を通じた不必要な情報発信が目立っているように感じます。父母の会との連携も一つの手だと思います。
<p>V 地域の自然や社会とのかかわり</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 地域との関わりについては、園外保育など積極的に取り入れていて、自然とも触れ合っているなど感じる。 • ニュースで園児（他児）をまきこむ事故が多くあったため、あらためて地域のおふない所や、園外へ出る時の注意事項、下見などをしっかり行う必要性をあらためて感じた。 • 地域との関わりについては低く、興味関心が薄いのだと反省している。小学校や地域と相互に連携・協力しながら社会全体で子どもの成長をしっかり支えていくことが大切だと思うので、今後は関心を持って情報を得ていくよう努めたい。 	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> • 泥んこ遊び、みかん狩り、お芋やかぼちゃ作りなど、地域の方々の協力で、多くの体験ができ、とてもありがたく思います。自然に恵まれた、麻機だからこそ、できることが多く、普段の保育の中でも、たくさんの自然を感じられることが、子どもの成長にとっても良いことだと思います。 • 麻機幼稚園の良い点は、恵まれた自然環境にあると思います。遊水地を活かしたセンターハウスの今後の活用や麻機緑地広場は幼稚園に近いし、積極的にその活用を図っていただければと思います。 • 自然の豊かさに触れる機会と同時に、自然の怖さに触れたり、考えたりする機会（防災）も大切かと思いました。

<p>VI 研修と研究</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実技研修は、すぐに子どもと一緒にやることも出来るので今後も積極的に参加したい。 ・以前に比べ研修に出る機会が増えた。また学びたい内容を園長先生に伝えることで、学べる機会をつくってくれるため、とても勉強になる。他園の保育を学ぶ場が増えると良いと思う。 ・研修後、意識を持って、保育をする際には心がけるようにした。今後も、様々な研修会に参加した他の先生たちの報告を聞いたり、自分も研修会に参加したりして学び、保育の視野を広げていきたい。 	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先生方が研修に前向きで、学んだことをすぐに活かしていることがすばらしいと思います。 ・どの先生も、保育について、常に真剣に向き合ってくださいていることが伝わります。いいものを吸収し、意見交換が気軽にできるような関係を先生同士が築いていってくださいすることで、今よりも更に、質の高い保育が可能となり、よりよい幼稚園として名高いものとなるのではないかなと思います。 ・幼児教育の大切さは、今さら言うまでもなく、時代の変化に対応できる能力を研修の中でさらに磨きをかけて高めてもらいたいと思います。 ・対応が難しいケースについては、当事者の負担を軽くするよう周囲がチームで支えつつ取り組むことをおすすめします。教員のストレスケアは重要なテーマのひとつかと思われます。
---------------------	----------	---	--

4. 今後取り組むべき課題

- (1) 新学習指導要領改訂の趣旨に即し、「10の姿」を意識した保育計画の立案、実施に努める。
- (2) あさはた緑地や地域にある公園などへの園外保育を行い、地域との連携をより一層図る。
- (3) 子ども一人一人の良さや可能性を伸ばすため、各種研修会への積極的参加や外部講師を招聘するなどして職員自らが学ぶ環境を整える。
- (4) 情報の発信に関して、父母の会との連携も視野に入れた園としての発信方法を検討する。